

Yae ASANO

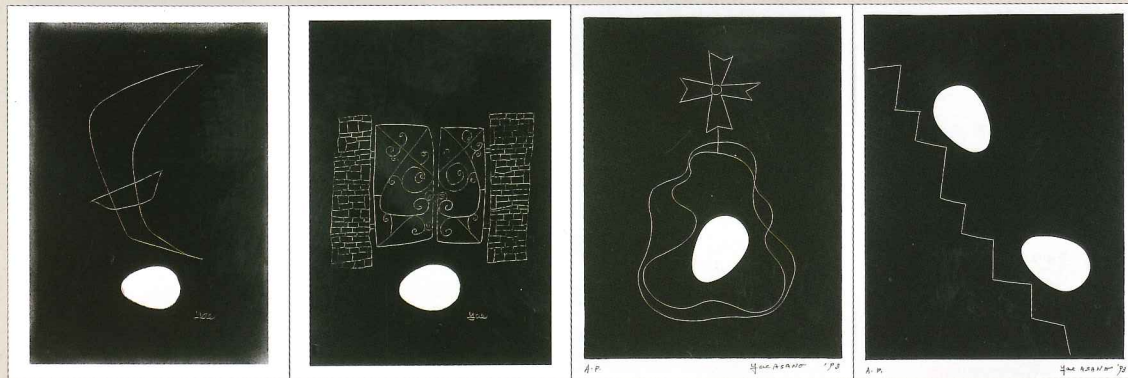
浅野弥衛展

2004.7.1 木 ~ 9.30 木

開館時間 9:30~17:30(入館は17:00まで)
年中無休(但し12月28日~1月1日を除く)

●講演会「父浅野弥衛を語る」浅野美子
8月1日(日)、9月12日(日) 14:00~

緒の作品



一羽のカモメと卵

門の前の卵

タマゴのMetaphor 2

タマゴのMetaphor 3

●入館料 一般1,000円(4枚セット券3,000円)/大学生800円/高校・~~中学生~~500円/~~小学生~~以下無料
●後援 鈴鹿市教育委員会

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

MAPCODE®

566359095

Tel.0593-91-1088 Fax.0593-91-1077 <http://www.paramitamuseum.com> E-mail=office@paramitamuseum.com

paramitamuseum

浅野 弥衛 展

Yae ASANO

2004.7.1木~9.30木

浅野弥衛は1914年(大正3)三重県鈴鹿市に生まれ、郷里で少年時代を過ごしましたが、1932年(昭和7)神戸中学を卒業と同時に職業軍人として満州へ渡ります。その後、昭和20年の終戦まで帰国と応召を3度繰り返した浅野でしたが、帰国の合間を縫って詩人の野田理一と親交を結び、絵画の道を指し示されます。浅野が初めて公募展に自分の絵を出品したのも、1939年(昭和14)、2度目の帰国の合間でした。

戦後、絵を描き続けながら金融機関に勤め、信金代表理事にまでなった浅野でしたが、1959年(昭和34)代表を辞し、40代にして職業画家としての制作にのめり込みました。そしてただ一人の師と仰ぐ野田理一の「自分の好きなように描きなさい」という一言に励まされるかのように、ひたすら抽象絵画を描き続けましたが、1996年(平成8)惜しまれながら他界しました。

気の遠くなるほど緊密に塗り込められた画面に引っかき傷をつけて絵の具を象嵌するという特異な技法と、J. ポロックに匹敵するオートマチスム、白と黒を基調とする自在な線描は、日本の現代美術界に一人異彩を放って屹立しています。

今回は当館の200点を越える収蔵浅野作品のうちより、秀作約110点を選びすぎて展示いたします。



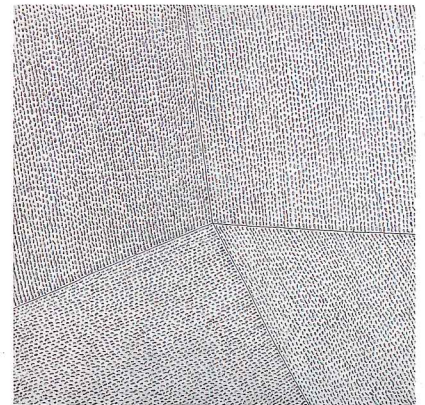
抽象



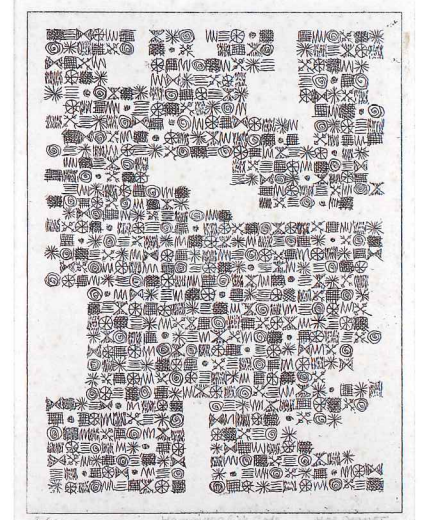
抽象・黒



木の葉(2)



無題(たがやし)



ハムラビ・コード(2)



全面模様

交通機関

[自動車] 東名阪「四日市IC」より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km
無料駐車場(普通車100台、大型バス駐車可)
[電車] 近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車
西へ300m、477号線沿い北側
全館バリアフリー対応、常備車椅子4台

問い合わせ先: paramita museum
〒510-1245
三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.0593-91-1088
Fax.0593-91-1077
http://www.paramitamuseum.com
E-mail:office@paramitamuseum.com

